

SONIALVISION®

DIGITAL TABLE

ソニアルビジョン 100

進化のかたち デジタルテーブル

今ここに、ひとつの夢(Sonia)を実現した
21世紀のスタンダード デジタルテーブルが誕生しました。

次代のイメージングテクノロジーも視野に入れた

SONIALVISION 100の登場です。

コンパクトなスタイルから

これまでの枠を超えて生み出される多彩な機能が
Multi-Purposeシステムの新たな領域と可能性を拓きます。



ソニアルビジョン100は、近未来のセンサーFPD等
の搭載を視野に入れて設計しています。

Digital Table

新たな領域と可能性を拓く

[DSA]

多彩なDSA機能*

1024²マトリクス
12 bit 4096階調
7.5fps



■息止不要の新世代DSA*

下肢造影(ボーラスチェイス)DSA
島津特許のRSM-DSA

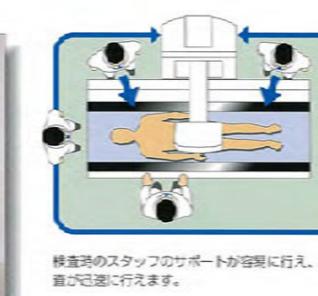
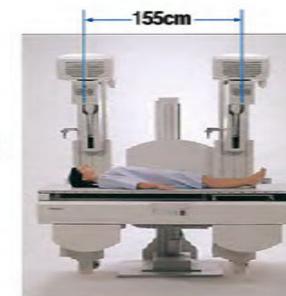


■マスク像収集不要のDSA

■1回爆射のDSA/DA
■任意位置で開始・終了



全身サポート155cm**の映像系移動 ワークスペースの確保



検査時のスタッフのサポートが容易に行えます。

被検者の全身を映像系移動でカバー。緊張する被検者に対するやさしい配慮です。

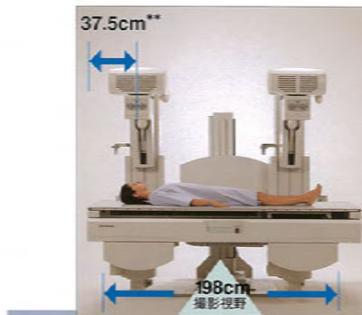
大容量750KHU X線管装置*

長時間透視、撮影回数の多いDSAをサポート。さらに、床尾追断バルス透視も可能で軟X線除去により被曝を低減します。



全身をカバーする 最大198cm**の撮影野を確保

被検者を、移動させることなく、全身の診断領域を確保。迅速に検査が行えます。



すべての起倒角度で 映像系移動155cm**を実現

逆傾斜時に映像系の引け戻しがなく、被検者の移動に危険を伴うミエログラフィや逆尿器系等のポジショニングを安全に行えます。(天井高265cm, FFD110cm)



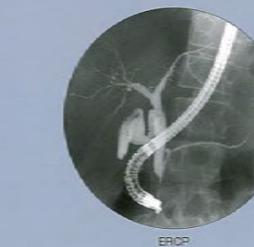
広範囲なアプローチエリア

IVR時医療スタッフのサポートが容易に行え、検査や治療を迅速かつ安全に行うことができます。



下肢静脈造影

目的部位を観察しながら、任意の角度に起倒できます。

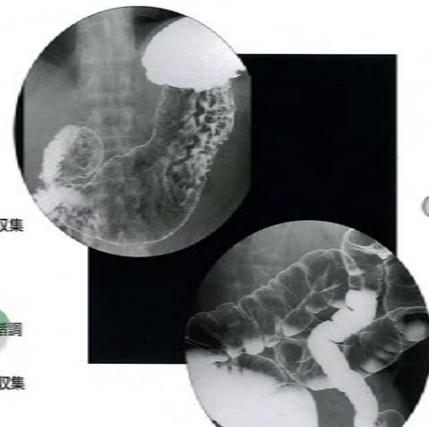


Digital Table

高速・高精細デジタル画像の追求

[消化管系造影検査]

世界トップレベルの
DRシステム
DIGITEXシリーズ



微細病変も逃さない高精細デジタル収集

2048²マトリクス*

12 bit 濃度分解能 4096 階調

タイミングを逃さない高速シリアル収集

最速 7.5 fps

12 bit 濃度分解能 4096 階調

透視から撮影まで 0.5 秒*

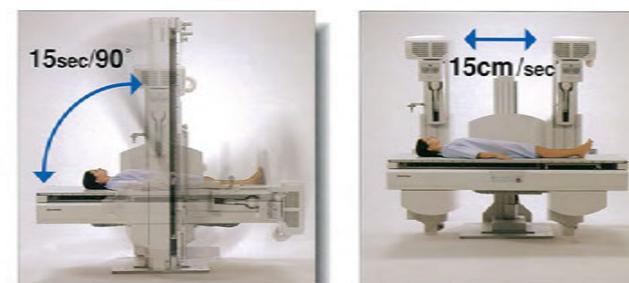
撮影タイミングを逃さない世界最短の0.5秒撮影を実現。また、息止めや身体の動きを止めにくい高齢者の撮影時の体動の影響を最小限に 줍니다。

(750G-LX) 製品別売仕様

*

フィルムレス化で 寝台各部の高速移動を実現

造影剤の流れを追っての検査や、スピーディなポジショニングが可能となり、ストレスを感じない検査環境を提供します。



抜群の操作性 新感覚のコンソールパネル



DR分割撮影



透視から撮影まで 0.5 秒*

撮影タイミングを逃さない世界最短の0.5秒撮影を実現。また、息止めや身体の動きを止めにくい高齢者の撮影時の体動の影響を最小限に 줍니다。

(750G-LX) 製品別売仕様

Digital Table

コンパクトな寝台に多彩な機能
新発想で拓く新たな診断領域

[救急検査・整形領域・一般撮影]

ひとに優しい寝台昇降

手技、術者に適したテーブルの高さと、被検者に優しい低いテーブル高さを実現。



病巣部を的確に描出する 断層撮影機能

デジタル断層およびCR用IP/フィルムによる断層撮影機能を標準装備。全ての寝台傾斜角度で断層撮影が可能です。



IP/フィルム半切判カセット撮影

広い被写体を一画面で観察できるカセット撮影機能を標準搭載。自動カセットサイズセンターにより、簡単に素早くセッティングが行えます。



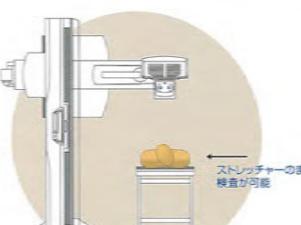
世界初、4探光野直接ホトタイム

カセット撮影用に左右肺野、胸部側面、腹部領域の4探光野を備えた高精度ホトタイムを新開発。X線吸収の少ないIXe封入型の検出器を採用。X線被曝の低減にも寄与します。



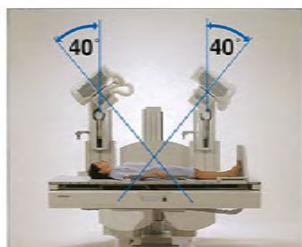
救急患者の検査に便利な ストレッチャー撮影機能

ストレッチャーで搬送された救急患者を、ストレッチャーに乗せたままで検査が可能です。不用意に動かせない救急患者の検査に有効です。



整形領域で重宝な 深いX線斜入角度

X線の入射角度はこれまでにない±40°を実現。骨盤の入口、出口撮影や骨折患者の検査にも無理な姿勢を取らせることなくボルショニングが行えます。



整形で有用な1.5m低拡大率撮影

整形外科領域などで、拡大率を小さくして実寸に近い画像が得られる1.5m撮影機能を標準装備。

